

コアシンポジウム 2

「消化管癌の内科外科治療の最前線【上部消化管腫瘍に対するコラボレーション手術の現状と課題】」

主司会 岡 志郎（広島大学大学院医系科学研究科消化器内科学）

副司会 阿部 展次（杏林大学医学部消化器・一般外科）

上部消化管腫瘍に対する内科・外科のコラボレーション手術（LECS、ELPS など）は近年著しく進歩し、治療戦略は多様化している。一方で、適応の妥当性や患者選択にはなお課題が残されており、安全性および標準化の確立が求められる。本セッションでは、各施設の工夫や治療成績、新規手技を含む幅広い演題の応募を期待する。